

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年11月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300141
法人名	医療法人 健育会
事業所名	つどいの家
所在地	鹿児島県始良市鍋倉224番地1 (電話) 0995 - 66 - 3533
自己評価作成日	令和元年9月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年10月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・毎月努力目標を定め、申し送り時にホームの理念と共に唱和し、職員の意識付けを行っている。
・可能な限り「軒下から一步外に」を目指し、外気浴や散歩等の支援を行い、精神面の安定を図っている。
・母体が医療法人の為、健康面においても連携が取れており、ご家族にも安心して頂いている。いただいている。
・ホームの目の前に保育園があり、子供たちの笑い声や元気よく走る姿等を身近に感じ、敬老会等にも参加して頂くなど、利用者と子供たちが交流する機会を設けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は、運営母体の医療法人と連携・協力体制が整っており、医療面における本人・家族及び職員の安心となっている。
・自治会に加入し、近隣の児童養護施設でのイベントに地域住民と一緒に参加したり、果物の差し入れがある等、日頃から交流している。近隣の児童養護施設とは、事業所の緊急連絡網への登録や避難受け入れ等の協力関係を築いている。保育園児と散歩時の挨拶や声掛け等、日常的な交流がある。
・ユニット間は少し距離があるが、散歩での立ち寄りや合同イベントで利用者及び職員間の交流を図っている。職員は、利用者の持てる力を活かし、一人ひとりのペースに合わせた支援に取り組んでいる。
・職員間のコミュニケーションは良好であり、管理者は、資格取得の支援や研修受講を勧めサービスの向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホール内に理念を掲示し、朝・夕の申し送り時に、毎月の目標と一緒に唱和し、全職員が共有し実践している。	見直した理念を、事業所内に掲示しパンフレットにも掲載している。申し送り時に目標と一緒に唱和し、職員全員が理念を共有し支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に地域の方も参加していただき、情報を共有している。近隣の施設、保育園等とは行事への参加等でも交流を行い、災害時には近隣施設の方等の協力をもらっている。	自治会に加入しており、近隣の児童養護施設のイベントに住民と一緒に参加し交流している。住民から果物の差し入れもある。散歩時に保育園児に声掛けしたり、災害時の協力体制も築いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議等で認知症の方達の支援方法を伝え、理解してもらっている。災害時の避難等もスムーズに行えるように、近隣施設の方と連携を取っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	出席者への外部評価の報告や研修等の報告を行い、委員の方達との関わりの中で地域との繋がりを築いている。御家族にも会議に参加していただき、意見等があれば委員と共にサービスに活かせるように検討している。	隔月の運営推進会議で、事業所の状況報告と意見交換を行っており、ヒヤリハット等、事業所での取り組みを理解してもらい機会にもなっている。出された意見は、災害対策等に活かせるよう検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に出席していただき取組等を伝え、助言をいただいている。日頃から連携を取るよう努めている。</p>	<p>市の担当者とは、日頃から、運営推進会議時の意見交換や出向いて気軽に相談等を行える関係を築いている。市や協議会の研修会に参加し、情報交換等にも努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会等で身体拘束について職員全体が学んでおり、身体拘束が様々な弊害をもたらす事を理解し、拘束しないケアに努めている。スタッフ間の声掛けの強化や見守りが出来る体制を作っている。</p>	<p>指針を作成しており、委員会と研修会をそれぞれ3ヶ月に1回実施し、職員の理解を深めている。職員間の声掛けを強化して利用者を見守ることで、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠はせず、外に出たい利用者には、職員が散歩等に同行して見守っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会への参加や職場内での勉強会にて、虐待は生命・身体に重大な危険を生じる場合がある事を学び、防止に努めている。又言葉での虐待も無いように勉強会を行い、職員同士でも気を付けるようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修への参加や制度の活用が必要な方に対しては、社会福祉協議会や司法書士の方と相談し、必要に応じた支援が出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事業所の運営理念の説明を行い、特に退所に関する取り決めについては、不安や疑問点が無いように説明している。又改定や変更に際しては、文書にて説明し同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	行事等で御家族が参加する機会を持ち、家族との会話を行っている。運営推進会議への参加も呼びかけ、要望や意見があればすぐに検討し対応出来るように努めている。面会やカンファレンス時にはご家族の意見等を聞くように努めている。	利用者には、日々の会話で要望等を聞いている。家族には、運営推進会議や敬老会で意見等を出してもらったり、面会時に要望等を聞いている。避難場所については、近隣の児童養護施設及び母体医療機関で、家族に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング等で職員の意見を聞き、反映されるように心がけている。月1回の法人の全体会議で提案や意見の場を設けている。	管理者は、日常の業務の中やミーティング時に職員の意見を聞いており、ケアについての統一を図ったり、備品購入等を本部に依頼するなど、意見を反映できるよう努めている。個別相談も管理者が対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者・管理者は職員との面談を行い、職員の意見を聞き、反映できるように努めている。代表者・管理者は常に職員の勤務状況等の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に行われている法人内の研修に参加している。新人研修やホーム内勉強会の実施、研修報告を行い全職員に伝わるようにしている。法人外での研修も参加できるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区協議会に加入し、研修等で交流の場を持っている。問題点や課題について地域の施設の方と電話連絡や交流会等で情報の交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>担当ケアマネ等との連絡を密に行い、病院等に入院されている場合には、事前に面会に行き、状態把握・要望等の把握に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前に連絡を取り合い、面談等にてご家族の要望等の確認を行い、安心して頂けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談・連絡等は本人や家族の思いを傾聴し、必要時は他のサービス機関への紹介、相談等行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活歴・家族・本人の言葉から得意とする物を知る事で、役割を見出し、共に生活するものとしての関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や体調変化時の状態の報告、又遠方の御家族には本人の訴えや要望を電話連絡し、現状を把握していただいている。又外出・外泊の声掛けや行事等に参加していただく事で本人との関係を築いていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方の家族、親戚には電話やお便りで連絡を取っている。買い物や外出時には希望があれば馴染みの場所に行く等して支援を行っている。	面会時には、居室やホールでお茶を飲みながらゆっくりしてもらっている。家族と墓参りや外食・美容室・受診等で外出したり、馴染みの場所に職員とドライブし、馴染みの関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の性格や生活歴を把握し、利用者同士が良い関係を築けるように努めている。問題発生時やコミュニケーションが取りづらい方に対しては、職員が調整役となり配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所や入院となった方には、面会に出向いたり、退所時にはご家族にいつでも相談に来てよいことを伝えフォローしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	朝夕の申し送り時には、利用者一人一人の状態を報告し、職員間で情報を共有している。日常生活の中で本人の思いを見出し、思いを言葉で表せない方には、表情等で察するように努めている。	日々の会話や利用者の表情等から、本人の思いを把握するように努めており、申し送り時に職員間の情報共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に本人やご家族から聞き得た生活歴や日常生活の会話の中から情報を拾い、その方らしい暮らしができるように支援している。情報提供書や生活歴は職員がいつでも確認できる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、言動や表情を観察し、ミーティング等で職員が情報を共有し個々の能力、生活パターンの把握に努めている。家事動作等では得意とすることや役割を見出しケアに結び付けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状態に合わせてその都度本人やご家族の要望、意見を取り入れながら、主治医・看護師の意見を参考にミーティング等で話し合い、検討し介護計画を作成している。	担当者会議で本人・家族・職員で検討し、ミーティング時に出された職員の意見を入れて介護計画を作成している。毎月モニタリングを行い、6ヶ月毎に介護計画を見直している。本人の状況変化等に応じ、必要時に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿って個別での記録を行い、申し送り等で職員間で情報を共有している。又ミーティングでは個別での対応や気づきを話し合い、介護計画の見直し等に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の生活の継続性とご家族の要望を踏まえて、通院介助・外泊・買い物等の支援、往診や医療連携等の支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署立ち合いでの災害訓練、近隣施設での行事（音楽会等）に出向き地域の方々と触れ合う機会を設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医の受信を支援し、協力病院も定め、適切な医療が受けられるように支援している。	契約時に、緊急時対応を含めかかりつけ医を確認している。定期的な往診と看護師との医療連携体制により、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関から医療連携の訪問があり、入居者の状態全般において相談している。ノートを活用し、医療連携からの連絡事項を職員が把握できるようにしている。緊急時やその他確認したい時等には、その都度連絡し相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には必要な情報を提供し、医療機関との連絡を密にとり、早期の退院や本人の混乱をなるべく少なくするように努めている。ご家族とも連絡を密にとり、職員も出来るだけお見舞い等に訪問している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族との話し合いの元、入居時に確認している。その時々々の状態に応じて、ご家族と主治医を交えてその都度確認を行っている。</p>	<p>重度化等の場合の対応について、契約時に説明し同意書ももらっている。状況変化時に主治医から家族に説明し、家族の意向を確認している。入院または特別養護老人ホーム入所希望があり、意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署に依頼し救命救急の研修を行い、急変時のマニュアルやホーム内での勉強会等を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立ち合いの下、地域の方の協力を得ながら、昼夜を想定した避難訓練を定期的に行っている。土砂災害の避難訓練も自主訓練を行っている。</p>	<p>ユニット毎に年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、消防署の立ち合いが1回ある。住民の参加があり、土砂災害の訓練も1回実施している。水や缶詰・レトルト食品等の備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄介助の声掛けは声の大きさに気を付け、難聴の方には文字を表す等の工夫をする。ポータブルトイレを居室に置く場合には、布等でカバーを行い見た目の配慮を行っている。	法人で研修会を実施し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに努めている。排泄介助時はさりげなく声掛け、難聴の場合はメモを工夫している。申し送りは、部屋番号を使いプライバシーの確保をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望を尋ねる際には、自分で選択できるような声掛けの工夫を行い、自己決定できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活において可能な限り無理強いをしないで、一人一人のペースに合わせた支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に美容院にホームに来ていただいている。行事などは好まれる方は化粧をして楽しんでいただいている。衣類などは本人と一緒に選び、必要に応じて声掛け・支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を取り入れた献立をたて、簡単な調理等を行っている。片付けが好きなお客さん方には職員が付き添いながら行ってもらっている。	献立は旬のものを使用し、希望を聞いて職員が作成している。利用者も一緒に片付け等をしている。誕生日の好物や季節の行事食・バイキング・手作りおやつ・外食・弁当持参の花見等、食事を楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の水分摂取量を記録し、好みの飲み物（ジュース・コーヒー等）を提供する事で水分不足の防止に努めている。1日の食事量を記録し、一人一人に合った食事形態に配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア時の見守り、一部介助等入居者の状態に合わせたケアを行っている。義歯は夜間は洗浄剤につけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンや時間での誘導、声掛けを行っている。失敗に対しては自尊心や羞恥心を考慮しさり気なく支援している。	個々の排泄パターンを把握し、昼間はトイレでの排泄を基本に、見守りや声掛け・確認を行っている。自立に向け個々に応じた排泄用品の検討も行っている。夜間は、ポータブルトイレやオムツも使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を付けて排便の有無を把握し、便秘の予防の為に乳製品を提供し、できる範囲での運動も心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが、拒否等がある場合には、その都度変更している。季節によって時間を変更したり、表情や体調等を確認して誘導を行っている。	週2回午前中の入浴を基本に実施しているが、冬季は午後の場合もある。利用者の状況や希望に応じて2人介助や同性介助・シャワー浴も実施している。嫌がる場合は無理強いせず、時間を置いて声掛けしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床まではテレビを見たり、本を読んだりしてくつろいでいただく。気持ちよく眠れるように、下肢UPや体位変換等個々に応じた支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の管理・仕分けを行い、処方の変更があった場合には申し送り等で全職員が把握できるように努めている。服薬担当を決め、誤薬防止の為に声出し確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	裁縫や趣味等の方の生活歴を生かし、その方にあった役割を見いだしている。又外出等では利用者と一緒に行きたいところを決め、気分転換になるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩やドライブ等、できるだけ入居者の要望に応じている。 (ショッピング・お墓参り・自宅訪問等はご家族の協力をいただいている)	天候の良い日は、近隣周辺やユニット間の散歩をしている。年間計画で、初詣や花見・外食に出かけたり、希望に応じて買い物やドライブ・喫茶店等に出かけている。家族と墓参りや外食・自宅訪問等で出かける利用者もあり、できるだけ外出できるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお小遣いをお預かりし、買い物に出かけた際には、本人に買いたいものを選んでいただいで買えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	御家族の誕生日やお正月、その他本人が希望された場合には、その都度電話や手紙等で交流できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が自分の力で過ごせるように必要な場所には手すりを取り付けている。ホール内は壁画等で季節の飾りつけを行っている。</p>	<p>空調等が調節された室内に、季節の作品や散歩で摘んだ花を飾っている。ソファや和室等できつろいだり、リビングからも目が届きやすく、安心して過ごしている。玄関先には鉢植えの花があり、日光浴ができるようベンチが置かれ居心地よく暮らしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間がテレビを見たり、談話を楽しんだりと思い思いにくつろぐ場所になっている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時には本人・ご家族に使い慣れた物をできるだけ待ってきていただけるように声掛けしている。入居後も必要に応じて声かけしている。（テーブル、仏壇等）</p>	<p>ベッドやタンス・テーブル・エアコンのある居室に、好みや必要に応じて、テレビやラジオ・仏壇・鏡・時計・化粧品・ぬいぐるみ・写真等を持ち込み、本人らしい部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内は整理整頓に努め、要所に手すりの設置、自立と安全面に配慮し、環境整備を行っている。居室にはわかりやすく名札を付けている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない